

実証事業が
進んでいます!

神奈川県ME-BYOリビングラボの事例



A10 Lab

エーテンラボ株式会社

エーテンラボ株式会社は、40歳以上70歳以下の2型糖尿病・予備群(HbA1c5.6%以上 7.0%未満)に3か月から5か月間、習慣化アプリ「みんチャレ」を提供し、生活習慣改善の効果検証等を行うとともに、連携可能な実証フィールドとの事業から効果的な協業モデルの探索を行いました。



実証フィールド
市町村・
健康経営企業・
医療機関



emol株式会社

emol株式会社は、妊産婦の心のケアに関心が高い県内の市町村(平塚市・鎌倉市)と連携し、AIロボと会話することで妊産婦の心の悩みを改善する、アプリ「emol(エモル)」を提供し、産後のメンタル不調への対策について効果を検証しました。



実証フィールド
市町村



株式会社 早稲田エルダリーヘルス事業団

株式会社早稲田エルダリーヘルス事業団は、軽度の介護認定者等にデイサービスを提供する施設等で、自立した生活に必要な体力を身に付ける機能訓練に歩行解析デバイス「AYUMI EYE」を適用し、利用者の意識・行動変容、及び指導するスタッフの負荷軽減等への効果を検証しました。



実証フィールド
介護施設



カゴメ株式会社

カゴメ株式会社は、健康経営を推進する県内の企業・事業所と連携し、従業員を対象に食生活改善セミナーを開催して、野菜摂取量や野菜摂取に関する意識・行動に与える効果の検証、さらに、セミナーとベジチェックTMを組み合わせた「食生活改善プログラム」の効果検証を行いました。



実証フィールド
健康経営企業

● 問合せ先

神奈川県 政策局 いのち・未来戦略本部室
住所: 神奈川県横浜市中区日本大通 1
電話: 045-285-0778(直通)



未病関連
商品・サービスの事業化を
神奈川県が
サポートします!

応援 協力 助言

活用してみませんか?

「神奈川県ME-BYOリビングラボ」は、神奈川県が超高齢化社会を乗り越えるため、健康維持・未病改善を進める商品・サービスの事業化を通じた、未病産業の育成及び拡大を、県が主体となって市町村・企業・県民の皆様とともにサポートする仕組みです。

知って得する! 活用の手引き

神奈川県 ME-BYO リビングラボ

目指すのは未病の改善

← 未病の改善

健康 未病 病気

神奈川県では日常生活において、心身の状態をより健康な状態に近づける「未病の改善」を推進しています。未病の改善には、「食・運動・社会参加(交流)」の3つの柱が重要としています。

ME-BYOリビングラボの目的



地域
社会課題
解決 + 未病産業
創出

活用すればこんなに差が出る!

ME-BYOリビングラボ活用 3つのメリット

メリット1

市町村、企業、
大学・研究機関等に
働きかけ、
**実証に必要な
調整をします**

メリット2

県の記者発表により、
実証内容や
実証の評価など
**実証事業を
PRします**

メリット3

信頼性の高い
検証結果が得られるよう
**分野に応じた
専門委員が
アドバイスします**



